

# オカピ通信

第3号  
(2023年8月  
活動まとめ)

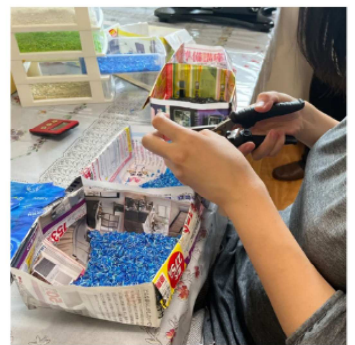
## 海洋プラ×福祉

### 障害のあるクリエイターと共に アップサイクルで自立を目指す



吹上浜海浜公園からすぐのところにあるNPO法人、ふう（南さつま市）では、利用者さんによって日々アクセサリーが作られています。

▽材料は、自分たちで集めてきた海洋プラなどのプラスチック。「海ごみの問題を何とかしたい」「施設利用者の作業の幅を広げたい」と、海洋プ



洗浄・色分けしたプラごみを一つずつハサミでカットする

ラアクセサリーの製作を始めました。高品質な製品を、できる限り職員が手を介さずに作れるよう、手順や製法に改良を重ねています。

▽今年4月から始まったこのプロジェクト。オカピも当初からかかわり、ふうの皆さんと共に試行錯誤しています。今秋にはついに、オンラインショップがオープンする予定です。取組の様子や詳しい情報はインスタグラムで公開中です。(ID:funno\_plastics)

## 板を削りだして 作ったものは…



こちらの「TOILET」の文字は、プラ（み製の板から切り出したものです。小さな CNC フライス（コンピュータ制御で刃物を動かして、設定した形に切削する機械）で作製しました。案内看板や番号札など、アイデア次第でいろいろなものを作れそうです。

▽切り抜いた後に板が残ったり、大量に切りくずが出たり、といったデメリットも考えあわせつつ、この機械もものづくりに上手に取り入れていきたいです。

▽なぜ試作に「TOILET」を選んだのか…言葉を選んだ当人ながら、今もって謎です。

## 夏休みの全講座が終了

### けが人も出ず、ほっと一安心

8月20日、夏休み期間最後の講座が終了しました。スタッフや保護者の皆様のお力もあり、怪我なくすべての回を終えることができました。公民館、図書館、児童クラブなどで計十回ほど講座を行いました。

▽自由研究のために参加してくださった方も多かったです。「楽しかった」で終わらせず、プラスチック問題のことを自分なりに調べ、考える人が来てくれたのは、うれしい限りです。

▽今後もしさらに講座をブラッシュアップさせていきます。お楽しみに。

## 移住して1年あまり。 郷土料理作りに初挑戦

今秋開催されるかごしま国体では、日置市の吹上浜公園体育館がレスリングの会場となります。大会関係者への「おもてなし」として、市内女性団体が郷土料理をふるまうことになっていきます。その試作会に参加してきました。

▽「豚汁」「がね」「山坂達者めし」「ふくれ菓子」「からん団子」：聞きなじみのない料理の数々がお母さん達の手により手際よく作られていきました。味も勿論絶品。一人暮らしだと郷土料理を食べる機会はないため、ほとんどが初めての料理でした。

▽国体当日は私もおもてなし料理作りに参加します。足手まといにならないよう、頑張ります。

## オカピの目

今回紹介した海洋プラアクセサリーには、「レジン」と呼ばれる紫外線で固まる手芸用の樹脂を使っています。私は自分の製品を作る際には、レジンを使いません。プラスチックごみの量が増える上、複数の樹脂が混ざるとリサイクルが難しくなるからです。ただ、利用者さんの使える道具などを勘案して、話し合いのうえでふうさんではレジンを使っています。製品づくりの傍ら、品質を保ちつつ、なるべくレジンを使わない手法を探っています。

製作：岡田香織（サキガケ日置市（移）民）  
ご意見等は okadakaori.p@gmail.com まで。